

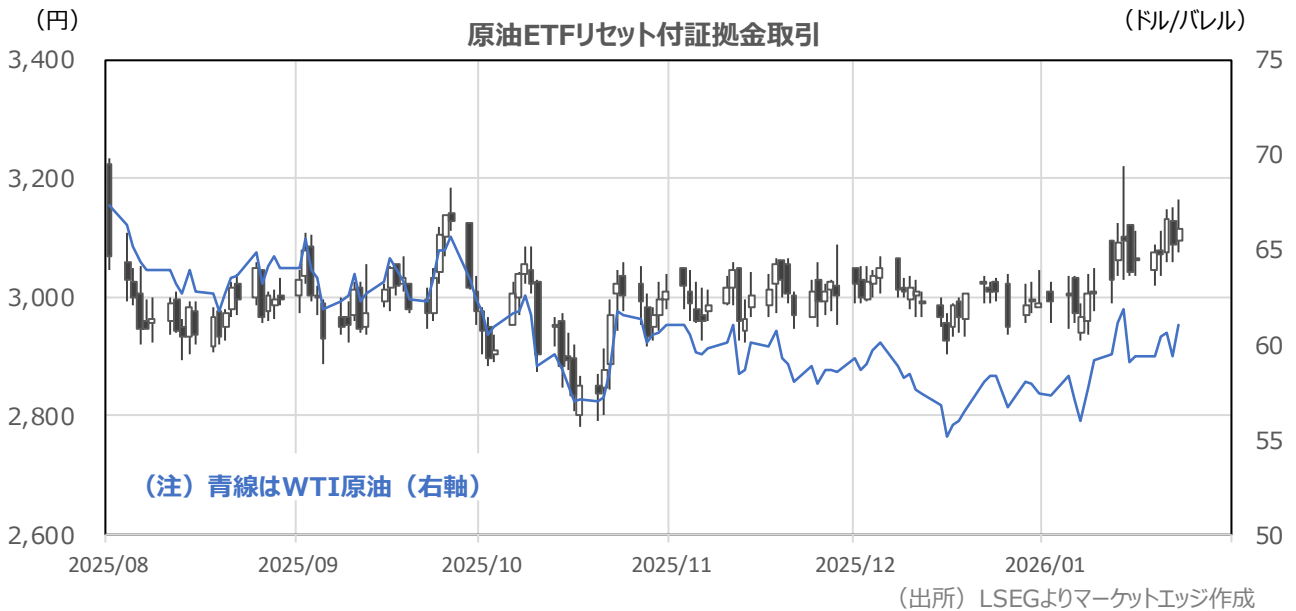
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/01/26号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## カザフスタン供給障害とイラン情勢で小幅高

NY原油先物相場は、1バレル=59～61ドル水準でやや底固く推移した。イランの反政府デモを巡る警戒が一巡して58ドル台後半まで値下がりしていたが、カザフスタンのテンギズ油田で火災による操業停止が報告されると押し目買いが膨らみ、60ドル台を回復した。その後は60ドルを挟んで売買が交錯していたが、1月23日にはイラン産原油の供給不安を織り込む動きが強まり、高値は61.36ドルに達した。最近の取引レンジ内での値動きだが、60ドル割れからの値崩れは回避された。

カザフスタンのテンギズ油田では1月18日、電力設備で火災が発生し、生産が一時停止された。カスピ海パイプライン・コンソーシアム（CPC）経由の輸出について不可抗力が宣言され、当面の供給量は抑制される見通しになった。減産の影響は2月まで続くとの見方もある。一方、周辺油田では増産対応が行われており、カザフスタン全体の供給量の落ち込みは一時的・限定的との見方が強く、大きな値動きには発展しなかった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月16日時点）は、原油が前週比360万バレル増、ガソリンが598万バレル増、石油精製品が335万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【展望】

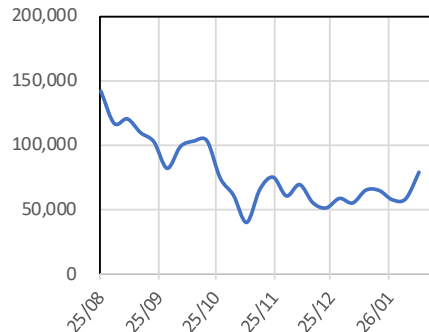
### 地政学リスクで荒れた展開が続くが、上昇は持続しづらい

不安定な地政学環境から突発的な上昇リスクを抱えるが、需給緩和見通しに変化は見られず、大きな値動きには発展しない見通し。引き続きダウントレンドの中で、地政学リスクに起因した瞬間的な上昇の有無を探る展開が続く。前週はカザフスタンの供給障害の発生、イラン情勢の緊迫化が原油相場を押し上げたが、供給リスクによる本格的な上昇は想定しづらい。

米財務省は1月23日、イラン産石油を輸送する「影の船団」への取り締まりの一環として、船舶9隻と運営会社8社に制裁を課した。また、トランプ米大統領は22日、米海軍艦隊が中東に向かってっていると発言した。軍事力行使はしたくないとしている一方、イランの反政府デモ弾圧や核開発問題に対しては、強硬姿勢も見せている。トランプ大統領は、ベネズエラに対する攻撃に踏み切った直後だけに、従来よりも軍事的な緊張感の高まりに対しては、慎重に対応せざるを得ない市場環境が想定される。

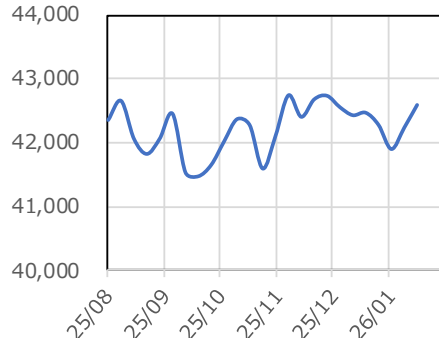
ただし、中東全体に戦闘が広がるような展開に発展しなければ、供給過剰見通しが修正を迫られる局面にはない。実際に、年初から米国のベネズエラ攻撃、イランの反政府デモの広がり、イエメン内戦など供給不安を高める動きは多数報告されているが、原油相場は60ドル台前半までの切り返しにとどまっている。イラン情勢次第では、直近高値62.36ドルを上抜く可能性がある一方、本格的な上昇トレンドを形成する見通しにはない。地政学リスクの織り込みによる上昇は、一時的な動きにとどまる見通し。国際エネルギー機関（IEA）は、2026年の石油需要は前年比で日量93万バレル増が見込まれるのに対して、供給量は日量250万バレル増加し、大規模な供給過剰が続くとの見通しを再確認している。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



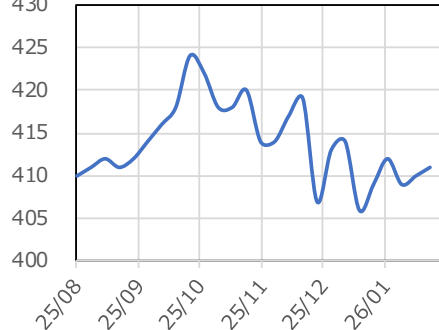
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 [info@markededge.co.jp](mailto:info@markededge.co.jp)

#### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

